

キャリアセンターからの情報提供や来室時の相談対応、実施している課外講座等に満足していますか？①満足している ②まあまあ満足している ③普通 ④あまり満足していない ⑤満足していない、から一つを選んでクリックしてください。	満足している	まあまあ満足している	普通	あまり満足していない	満足していない	合計	
	66	106		134	30	8	344 ←2015年度
	52	70		121	21	3	267 ←2016年度

【コメント問59】・満足していない学生とあまり満足していない学生の構成比の合計値は、前年度11%⇒9%に微減となった。一方で満足している学生とまあまあ満足している学生の合計値も昨年度49%⇒46%となっている。就職率の向上はもちろん、退学率の問題、大学への帰属意識を高揚させることを考えると、キャリア支援の立場としては、まず満足していない学生の構成比0を目標としたい。今後の方針としては、個人の満足度に焦点を当て、就業意識の低い学生、素行や成績不良の学生を中心に一人一人の学生とのコミュニケーションを撮り続ける努力を続け、学生サービスの向上に努めたい。

あなたの職業観にもっともよくあてはまると思われる項目を、以下の選択肢の中から一つ選んでクリックしてください。	どんな職業に就くかよりも、どこで働くか(勤務地)を優先したい	やりたい仕事が見つかるまでは就職をしなくてもよい	収入が少なくても興味を持てる仕事より、興味を持てなくても収入の多い仕事を選びたい	収入や知名度などよりも、自らの興味・関心を優先して職業を選びたい	収入や知名度などよりも、社会への貢献性を重視して職業を選びたい	大学で学んだことを生かせる職業を選びたい	合計
	26	12	38	172	18	83	349 ←2015年度
	15	10	24	130	10	78	267 ←2016年度

【コメント60】・昨年と比較してみると、●勤務地にこだわる学生が昨年度8%⇒今年度5%、●とにかく大学の学びを生かしたい学生が24%⇒29%と変化した。●収入を自分の興味・関心よりも優先したい学生は若干減少したが、やりたい仕事が見つからなければ就職しなくても良いと考える学生が1%増えている点が気になる。今後も、引き続き仕事に対して前向きに考える学生を増やせるよう、学生時代は社会に出て精神的・経済的・社会的自立を果たす前の訓練期にもあたる仮の姿であることをしっかりと認識させて学生の就業意識を高めていきたい。

卒業後の進路について考えていますか？	考えている	考えていない	合計	
	199	68	267	
	290	59	349	

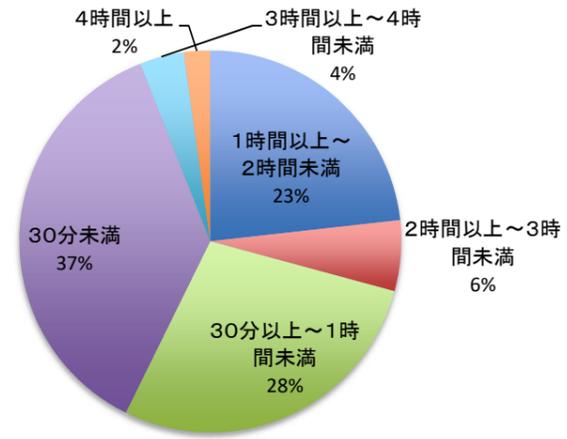
【コメント 問61】。前年度より、将来の進路を考えていない学生が大幅に増加している。(前年度17%⇒25%)キャリア科目のキャリアプランニングⅠ・Ⅱ・Ⅲの受講を促すと共に、就業意識の醸成に低学年より注力したい。

「考えている」と答えた人は、具体的に次の中から一つ選んでください。	就職	海外の大学、語学学校への留学	大学院へ進学	その他	合計	
	250	12	21	7	290	←2015年度
	168	14	8	9	199	←2016年度

【コメント 問62】卒業後の進路に関してきちんとした考えを持っている学生のうち、就職を考えている者、前年度86%⇒84%、大学院を考えている者、前年度7%⇒8%、海外の大学等への留学を考えている者、前年度4%⇒7%となっている。特に大きな変化はみられない。

	1時間以上～2時間未満	2時間以上～3時間未満	30分以上～1時間未満	30分未満	3時間以上～4時間未満	4時間以上	合計	
	78	36	90	122	13	10	349	
	62	16	75	98	10	6	267	

受講している授業(予習・復習を含む)以外で、資格取得など将来に備えた自主的な学習(例:漢字能力検定)の時間は週にどれくらいですか。次の中から一つ選んでください。



【コメント 問63】

学生の授業以外での、資格取得等将来に備える自主的な学習時間については、減少傾向が見られる。1週間当たりの自主的な学習時間が1時間未満の者の構成比は、前年度61%⇒65%となり、2時間以上の者の構成比は、前年度18%⇒12%となっている。旅程管理主任者資格、秘書検定、漢字検定、パソコン関連の資格等、選考の優位性を持つものを中心に学生にしっかりと取得の重要性を伝え、自主的な学修時間増につなげたい。本学独自の朝の自学自習形式の勉強会、朝活もアピール強化したい。